

## エンジニアパーク

# Engineer Ring Park

皆さんは、初めてパソコンをさわった際、使い方をどのように覚えられたでしょうか？ おそらく、テキストを隅から隅まで熟読して覚えた方よりも、使いながら覚えた方が多いのではないのでしょうか？ また、初めて自転車に乗った時は、何度か転倒しながらも、繰り返し乗って覚えた方が多いのではないのでしょうか？

私が技術士の仲間入りをさせて頂いたヒントも、このように「頭より体で覚え、理解すること」でした。

新人の頃は実施設計に携わる事が多かったため、基準や指針類を読みながら業務を進める一方、技術的内容について「何故そう書いてあるのだろうか？」という疑問符が頭をよぎる事が多く、周囲のアドバイスを頂いても今ひとつピンとこなかった事がよくありました。

ターニングポイントとなったのは、パイプライン通水試験や品質検査業務で施工管理に携わった時でした。実際に現場へ足を運び、自分の目で確かめる事で、「基準類に書いてあった意味はこういう事だったのか」「施工計画を立案する際はこういう事に着眼すれば良いのか」等々、それまでは頭で理解していたつもりでも何かイメージがつかめず悶々としていたものが、目から鱗が落ちる毎日でした。

技術習得のヒントが野外での体得によるところが大きかった私にとって、これら体験はまさにヒントの宝庫でした。以来、壁にぶつかった時には「頭より体で覚える」。この言葉をいつも思い出し、実行するよう心がけています。

微力ではありますが、今後とも習得した体験を基に、北海道の将来発展に向け貢献したいと考えています。

## 渡辺 雄治 (わたなべ ゆうじ)

●農業部門(農業土木)

勤務先

NTCコンサルタンツ 株式会社



➡ 次号は、住友慶三さん(建設部門)

私が技術士の口答試験を受けに渋谷のフォーラムエイトに行ったのが2009年(平成21年)の12月15日。もう1年以上経ちました。試験を終えエレベータに乗った時の胃の痛み(緊張が一気に緩んだため)と娘たちに頼まれていたお土産を買いに渋谷109に入ったときの違和感(おじさんが買い物をしに行く場所ではないです)は、今でも思い出すことがあります。

平成元年に大学を卒業し、財団法人北海道農業近代化コンサルタントに入社、平成11年に財団から分離した現在の職場で勤務しています。平成15年までは、主に農業・農村整備事業の計画策定(事業効果の算定も行っていました)業務に携わっていましたが、平成16年から自然環境調査を行うグループへ配置換えとなり、現在に至っています。これまで、道内のいろいろな場所で動植物の調査を行ってきましたが、毎年新しいものとの出会いがあり、現場に出かけるのが楽しみな日々が続いています。

そんな私の密かな目標(野望?)は、道内の淡水・汽水域に生息する魚類の完全制覇。とは言え、休日などに魚釣りに出かけるわけではなく、業務で行ける場所に限られてしまっていますが、魚類調査のある業務では、電気ショッカー・タモ網・投網などを駆使し、私にとっての未確認魚類を探し求めています。しかし、まだまだ図鑑でしか見たことがない魚達があり、どこかで会える事を楽しみにしているところです。

私は農業・農村整備事業の計画又は実施地区の自然環境調査業務に携っています。今後も、地域環境保全のため、より良い提案が出来るように日々研鑽を積みたいと考えます。

## 寺林 健一 (てらばやし けんいち)

●農業部門(農村環境)

勤務先

株式会社 ルーラルエンジニア  
計画・水利部門



➡ 次号は、渡部正幸さん(農業部門)